

『いばらの道』に花が咲く ～ 『違う景色』が見える ～

2025 年 9 月 11 日『ひばりヶ丘駅 ―> 池袋駅 ―> 新宿駅 ―> 中野駅』で降り、『新渡戸稲造記念センター in 新渡戸記念中野総合病院』に赴いた。

9 月 11 日 筆者の『種を蒔く人に なりなさい』（2019 年 4 月 1 日発行 いのちのことば社）（画像）の編集協力して頂いた吉川健一氏から【樋野興夫先生：『樋野動物園』に、ゾウはいますか？ ゾウとヒトは数千万年前に進化の過程で分岐したそうです。そのゾウは特定の鳴き声を通じて 他のゾウを呼んだり、呼びかけに応じていることが、コロラド大学などの 40 年間にわたる研究でわかりました。賢い動物ですね。それに比べ、人間はどれほど進化したのでしょうか。ゾウは 侮れない存在ですね。】とのメールが届いた。感服した。

早速、『樋野動物園』の『下町のおばさん象(上田博子)』様から【樋野興夫先生：素晴らしい象の情報ありがとうございます。人間は相変わらずですが…スバラシイゾウ！と言われるようにと願っております。】と、また『象(市村雅昭)』様から、【樋野先生：侮れない存在ですか……、頑張ります！】と、『2 匹(人)の象』から心温まるメールを頂いた。大いに感動した。

【序章】悩みや苦しみを越えて、種を蒔く人生を目指す

＊そっと見守る眼差しさえあればいい

＊人間は、がんを避けて通れない宿命を負っている

＊涙とともにパンを食べた者でなければ、人生の本当の味はわからない

第 1 章 心と知恵が繋がれば、いばらの道 に花が咲く

第 2 章 関心を持ちながら、そっと助ける

第 3 章 空っぽの器に水を注ぎ込む

第 4 章 人を裁くのは、裁かれること

第 5 章 必死に生き延びるのではなく、必死に今日を生きる

【あとがき】

＊競争心を追い払えば、これまでと 違う景色 が見える

＊どうでもいいことは捨て、これしかないものを探し出す

種を蒔く人になりなさい

順天堂大学医学部 教授
がん哲学外来 理事長

樋野興夫



あなたの
今日の役割は
何ですか？

2018年度
朝日がん大賞
長與又郎賞
受賞記念

涙とともに種を蒔く者は喜び叫びながら刈り取る。

Forest●Books 定価(本体 1,300円+税)